

## 令和2年度

# 第1回四万十市まち・ひと・しごと創生会議

[基本目標1]

地産外商により安定した雇用を創出する



[基本目標3]

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる



《第2期》  
四万十市まち・ひと・  
しごと創生総合戦略  
令和2年度～令和6年度

[基本目標2]

新しい人の流れをつくる



[基本目標4]

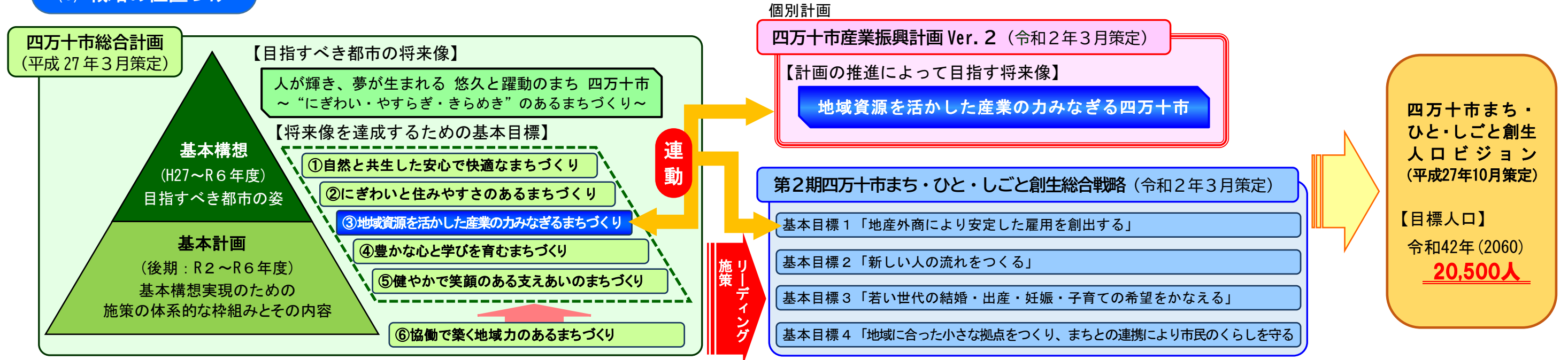
地域に合った小さな拠点をつくり、まちとの連携により市民のくらしを守る



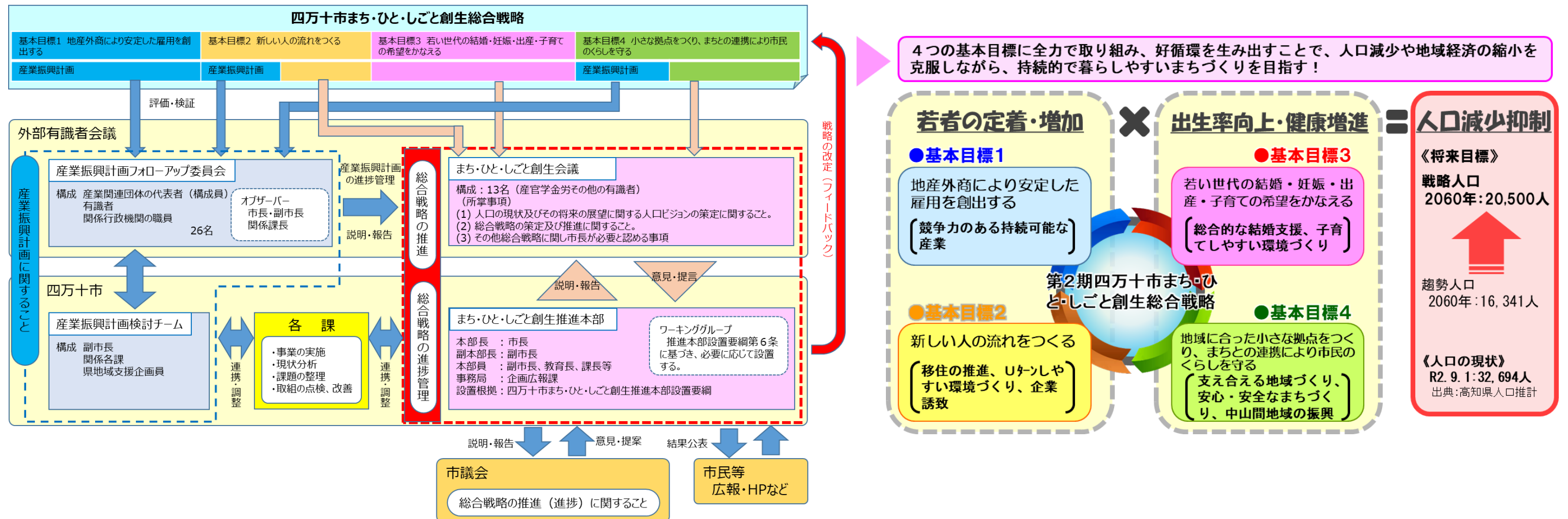
- 1 総合戦略の位置づけと進捗管理
- 2 四万十市の人口
- 3 四万十市の産業状況等
- 4 新型コロナウイルス感染症対策
- 5 令和2年度上半期の主な取り組み

# 1 四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけと進捗管理

## (1) 戦略の位置づけ



## (2) 進捗管理体制



## 2 四万十市の人口

### (1) 人口の将来展望

#### ■四万十市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

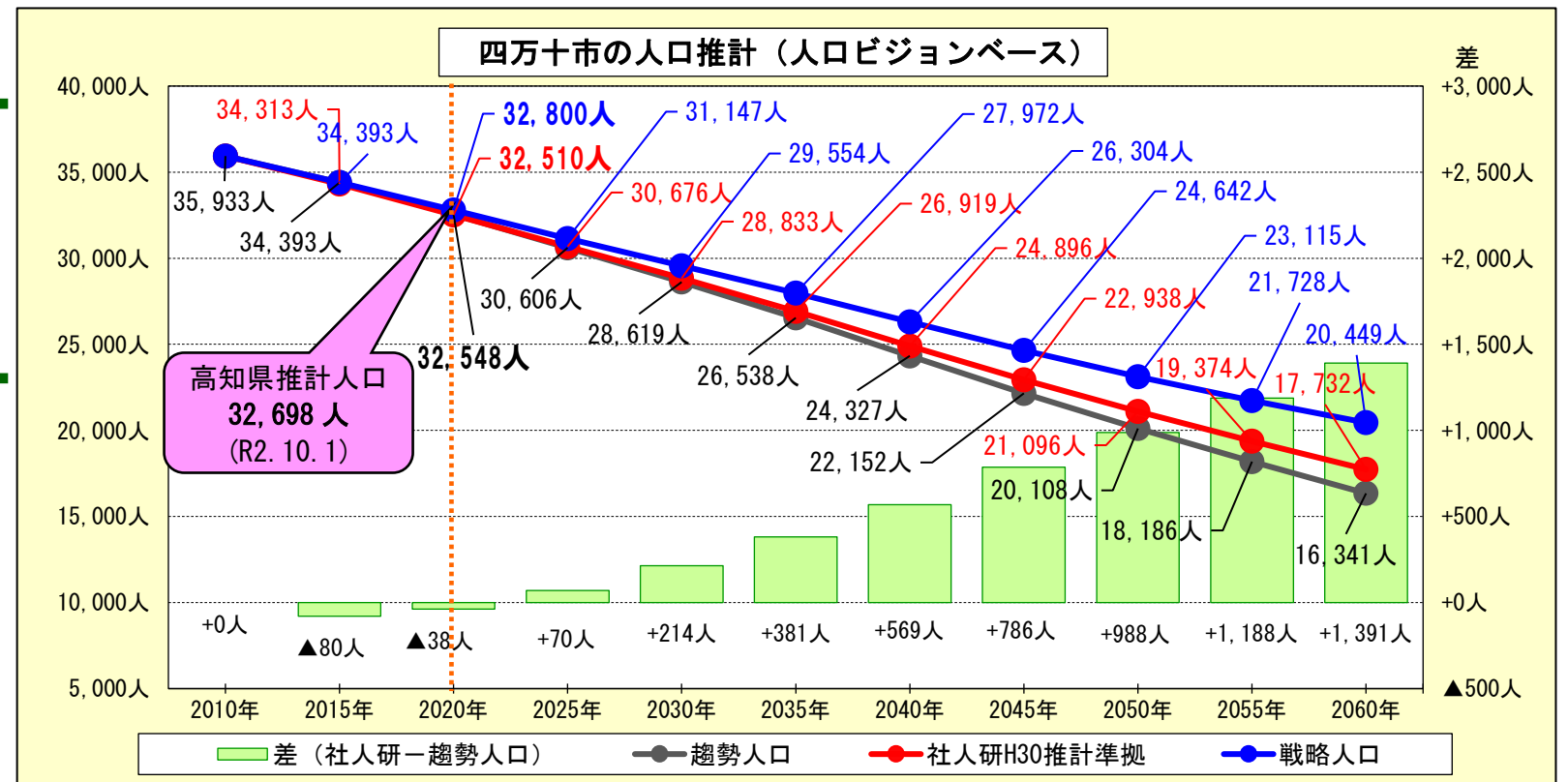
四万十市では、人口減少をめぐる問題認識と目指すべき将来の方向性を提示するため、国・県の人口長期ビジョンを勘案し、平成27年10月に「四万十市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定しています。

#### ■人口ビジョン策定後5年間の状況

市では同時に「四万十市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、子育てや健康福祉の支援などによる自然増減の減少抑制、市内経済状況の回復などによる社会増減の改善などに取り組んできました。

その結果、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の最新の推計(H30.3)に準拠した人口推計では、2060年の趨勢人口と比較すると1,391人増加しており、一定の効果が出始めています。

※自然増減: 出生数-死亡数 ※社会増減: 転入者数-転出者数



※戦略人口: 総合戦略による人口政策を行った場合の将来人口  
 ※趨勢人口: 人口政策を想定しない将来人口

### (2) 人口の増減と出生率

#### ■人口ビジョンの目標

[総人口]

2060年に人口20,500人の確保を目指す

[出生率]

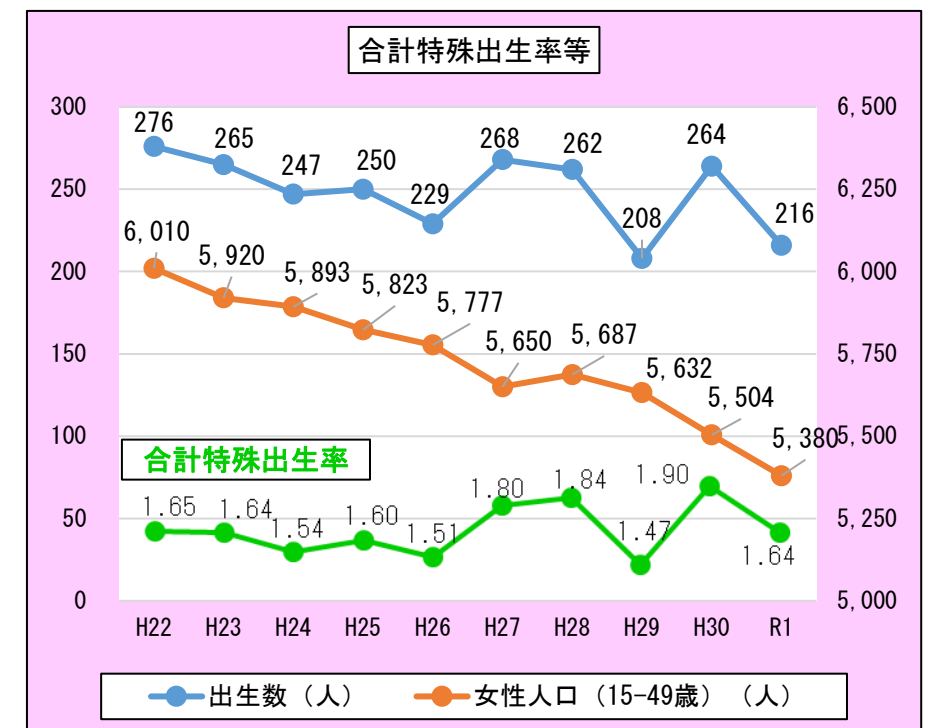
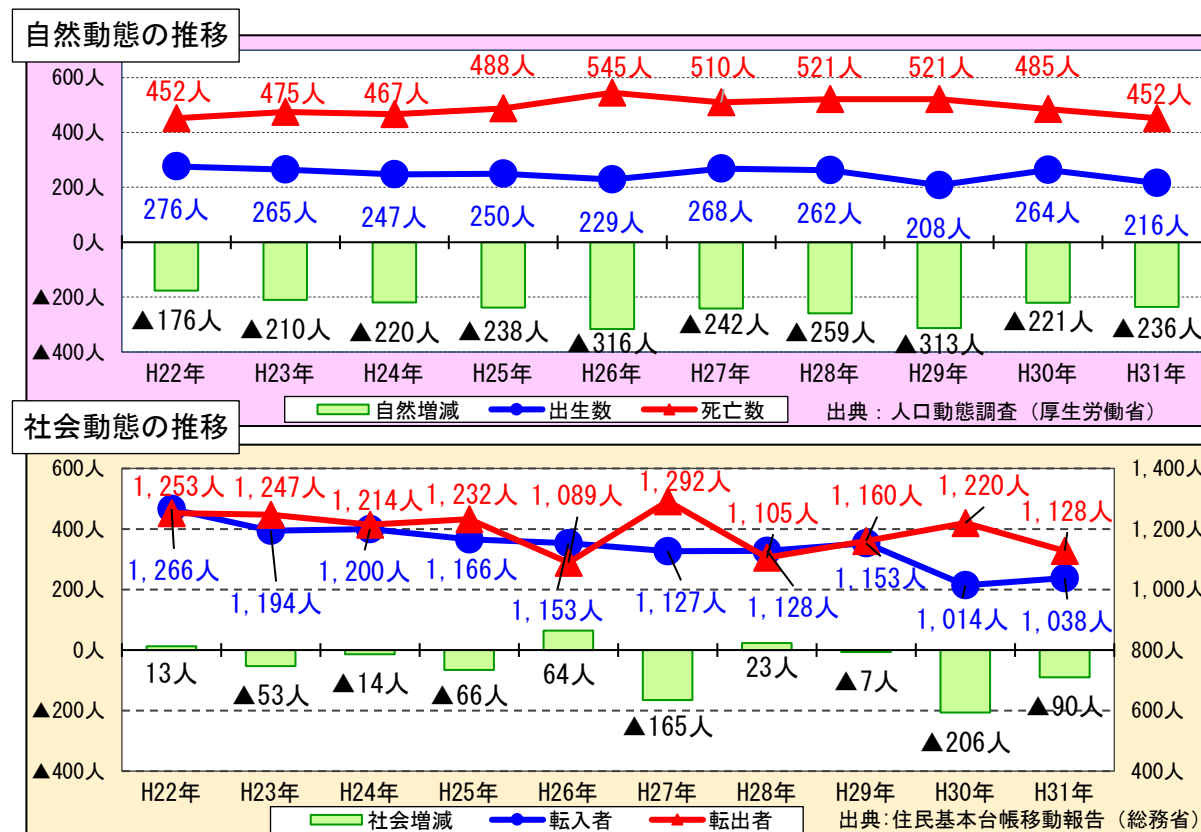
2019年: 1.90

⇒ 2040年: 2.07

⇒ 2060年: 2.27

[社会増減]

2020年以降段階的に社会増を目指す

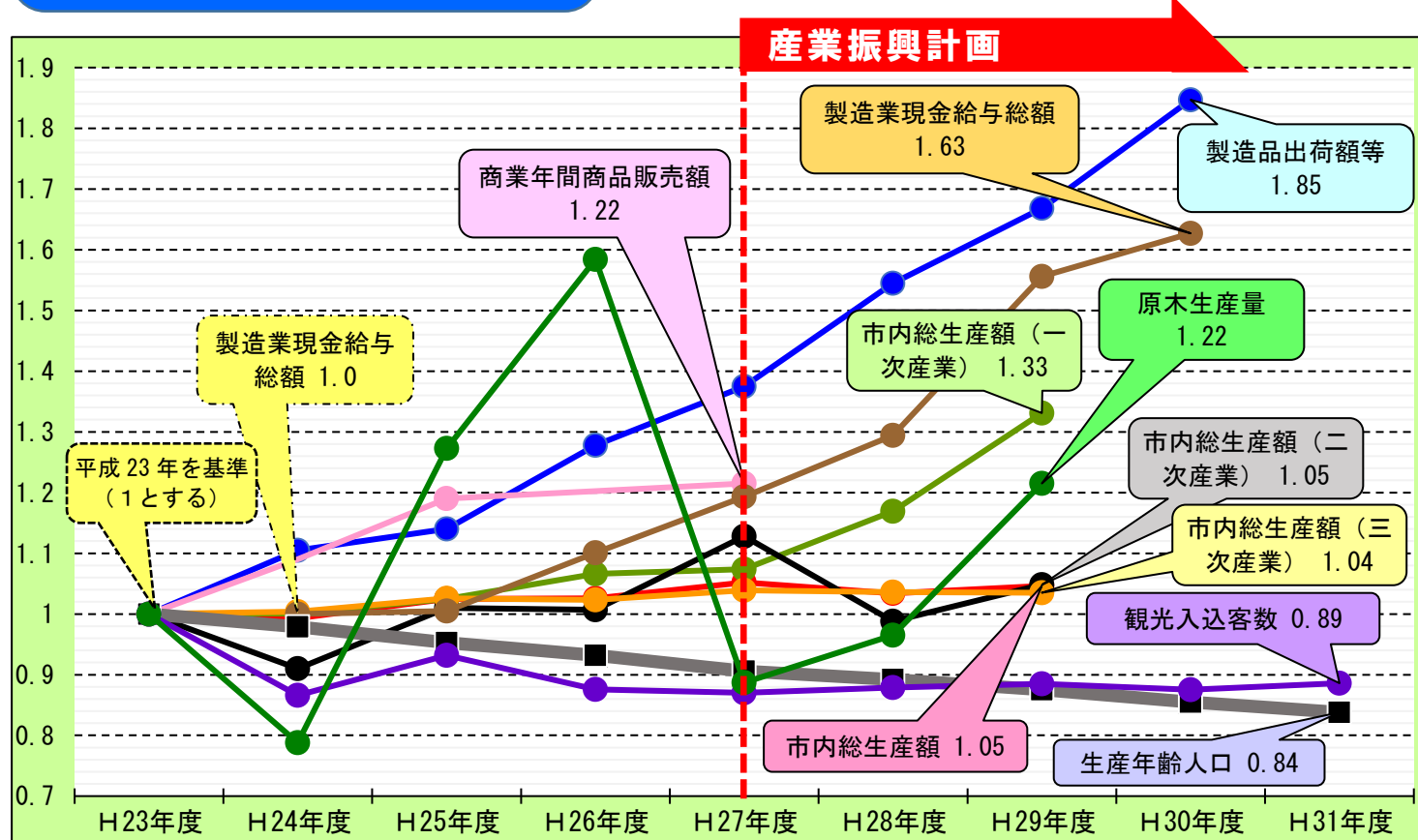


出典 女性人口(5才区分): 高知県の推計人口(10月1日基準)  
 出生数: 人口動態調査(厚生労働省)

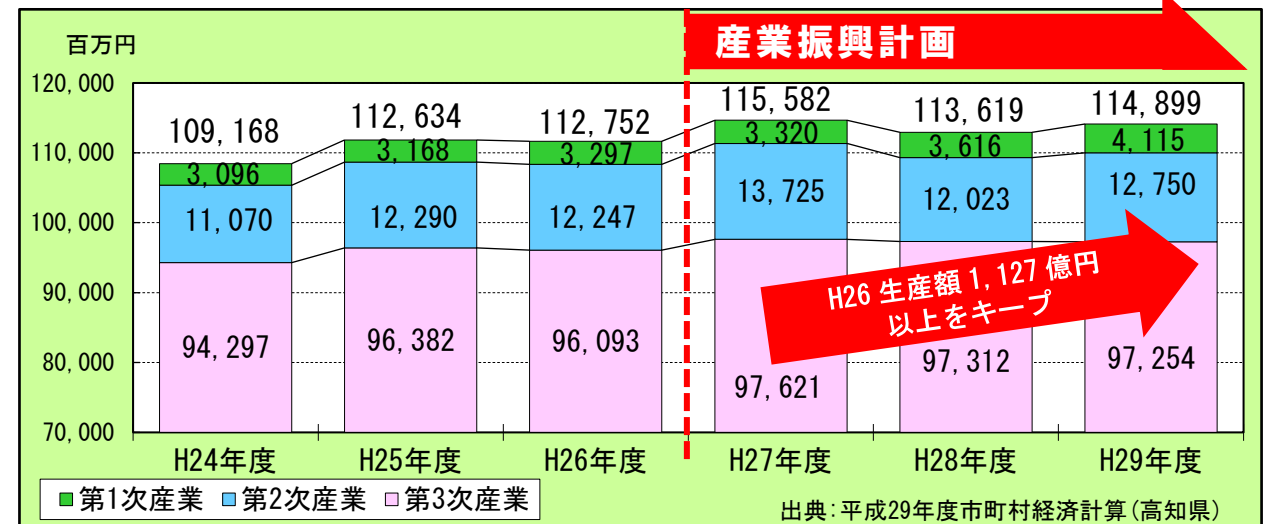


### 3 四万十市の産業状況等

#### (1) 生産・販売・出荷額の状況



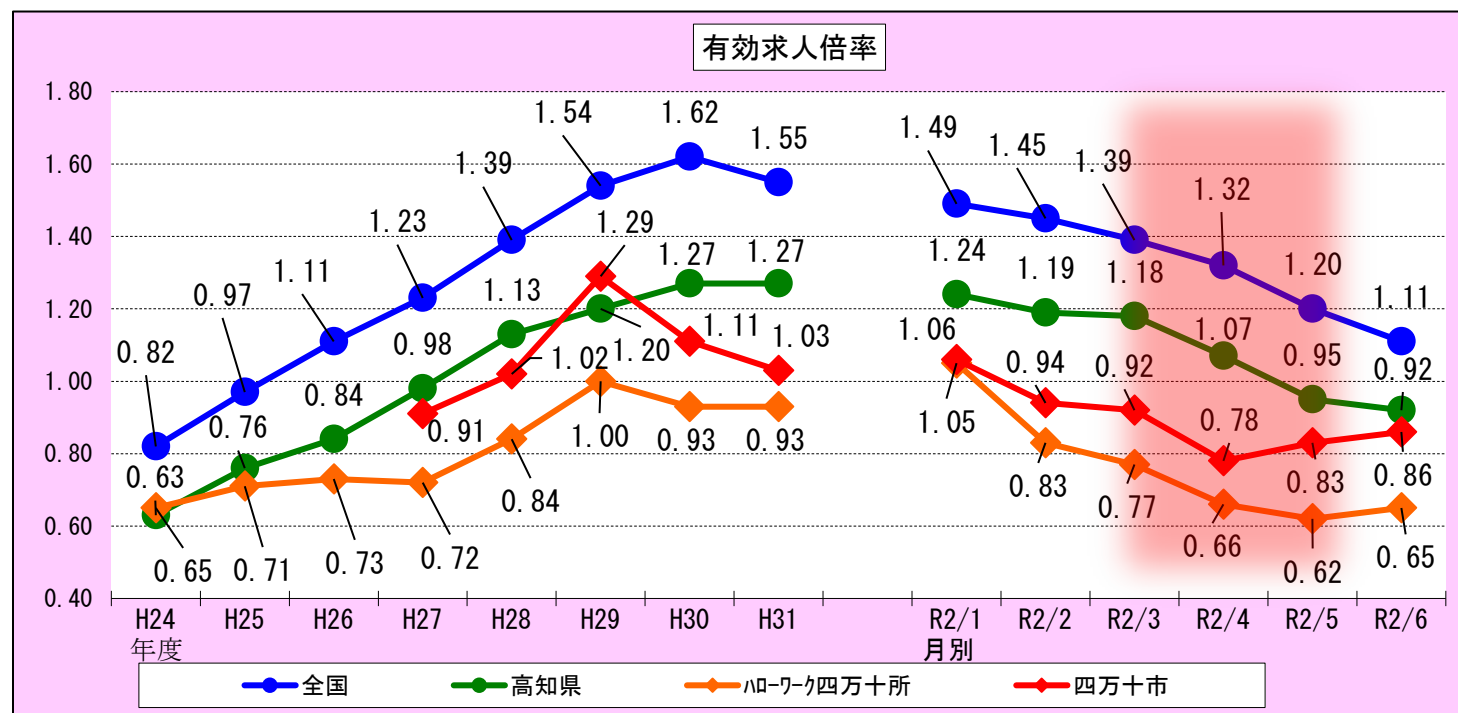
#### (2) 市内総生産額



	平成28年度	平成29年度
県内総生産額	2兆4,105億円 (+1.3%)	2兆4,295億円 (+0.7%)
総生産額が1,000億円を超える市町村	①高知市 1兆2,065億円 (+2.3%) (※県内総生産の50.1%) ②南国市 1,979億円 (▲2.9%) ③四万十市 1,136億円 (▲1.7%)	①高知市 1兆2,027億円 (▲0.3%) (※県内総生産の49.4%) ②南国市 1,938億円 (▲2.1%) ③四万十市 1,149億円 (+1.1%)

※カッコ内の数値は前年比

#### (3) 有効求人倍率



#### (4) 県内の経済概況 (前年同月比)

	R2/2	R2/3	R2/4	R2/5	R2/6	R2/7	R2/8
百貨店・スパー販売額	+3.8%	▲6.3%	▲14.8%	▲6.8%	+1.6%	+1.7%	+0.4%
コンビニエンスストア販売額	+5.2%	▲4.9%	▲11.3%	▲10.1%	▲2.7%	▲4.0%	▲3.7%
家電大型専門店販売額	+12.7%	▲5.5%	▲6.3%	+22.4%	+39.9%	+5.8%	+15.5%
ドラッグストア販売額	+17.1%	+12.6%	+16.0%	+12.7%	+13.1%	+7.8%	+11.7%
新車登録・届出台数	▲14.7%	▲2.0%	▲35.9%	▲56.0%	▲14.8%	▲14.0%	▲16.2%
主要観光施設入込客数	+14.3%	▲48.1%	▲89.5%	▲89.7%	▲50.1%	▲24.9%	▲25.3%
有料道路利用実績	+2.7%	▲16.4%	▲37.2%	▲42.3%	▲14.9%	▲11.9%	▲14.3%

※出典:高知県の経済概況から抜粋

#### (5) 市内の第3次産業の売上への影響

市事業持続化応援金(3次産業)申請ベース [申請期間] R2.6.8~7.10  
 ・交付件数:606件、支給額:6,630万円  
 ・売上への影響(3月~5月の前年対比。3割以上減少の事業者が対象。)  
**▲29億550万円(▲44.76%)**

## 4 四万十市の新型コロナウイルス感染症対策（概要）

※市財政課作成

**新** は9月補正で新規追加

**拡** は9月補正で事業拡充



### Ⅳ 強靱な経済構造の構築・・・新しい生活様式に対応した環境の整備 事業費4億4,819万円〔臨時交付金3億7,867万円〕

- ・“GIGAスクール構想”の加速化  
児童生徒一人1台端末整備
- ・高度無線環境整備  
光ファイバー網整備
- ・契約管理等システム導入
- ・庁舎web会議環境整備
- ・庁舎分散勤務用執務室整備
- ・まちバスキャッシュレス端末整備

### Ⅲ 経済活動の回復・・・街の賑わい、地域経済の再活性化 事業費3億4,115万円〔臨時交付金3億4,115万円〕

- ・事業持続化応援金（第1次～3次産業）
- ・商店街等活性化事業
- ・四万十市中小企業振興資金
- ・販売促進事業
- 新** 旅行キャンペーン  
“泊まって使えるクーポン”

### Ⅱ 雇用の維持と事業の継続・・・暮らしを支え、雇用・事業を守る 事業費36億7,593万円〔臨時交付金1億7,726万円〕

- ・特別定額給付金
- ・子育て世帯臨時特別給付金
- ・ひとり親家庭支援給付金
- ・子育て世帯応援給付金（市単）
- ・妊婦特別給付金（市単）
- ・住居確保給付金
- ・自立相談支援体制強化
- ・休業等協力金
- 新** 鉄道運行支援
- ・放課後等学習支援
- ・スクールサポートスタッフ配置
- 新** 修学旅行キャンセル料支援
- ・学校臨時休業対策（給食食材納入事業者支援）
- 新** 保育所保育料、給食費の減免
- ・国民健康保険等被用者への傷病手当支給
- ・国民健康保険料、介護保険料等の減免
- ・固定資産税の減免
- ・地方税等の徴収猶予

### Ⅰ 感染拡大の防止・・・市民の命と健康を守る 事業費3億806万円〔うち臨時交付金7,386万円〕

- ・マスク10万枚配布
- ・市民啓発、広報活動
- 拡** 公共施設等感染防止対策
- ・保育所等感染防止対策
- 拡** 子ども・子育て支援等感染防止対策
- ・小中学校感染防止等対策
- ・中学校空調設備整備
- 新** 小中学校トイレ洋式化
- ・西中学校統合改修（トイレ・空調）
- ・避難所感染防止対策
- ・市民病院、診療所感染防止対策
- ・と畜場空調設備整備
- 新** 医療従事者等への慰労金給付
- ・市民病院医療従事者への特殊勤務手当

### ■新型コロナウイルス地方創生臨時交付金の活用状況

1 四万十市への交付金配分	2 実施計画（第1次+第2次）
第1次配分 180,759千円	Ⅰ. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備及び治療薬の開発
第2次配分 608,890千円	11事業、交付対象経費 79,644千円
合計 789,649千円	Ⅱ. 雇用の維持と事業の継続
	14事業、交付対象経費 303,701千円
	Ⅲ. 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復
	5事業、交付対象経費 202,218千円
	Ⅳ. 強靱な経済構造の構築
	6事業、交付対象経費 224,969千円
	<b>全 36事業、交付対象経費 810,532千円</b>

総合戦略に関連する主な対策(市単独事業) ※9月末現在

#### [基本目標1]

地産外商により安定した雇用を創出する

- 市休業要請協力金 5/1～6/15  
・432事業者(458店舗等)、支給総額4,820万円
- 中小企業振興資金特別分 5/15～  
・融資総額2億9,930万円(50事業者)
- 商店街等活性化支援 6/1～  
・申請22件、申請額1,409万円
- 事業持続化応援金(5～20万円) 6/8～  
・第1次産業者:申請25件、申請額396万円  
・第2次産業者:申請35件、支給額455万円  
・第3次産業者:申請606件、支給額6,630万円
- 販売促進支援 8/17～  
・第1次産業者:申請2件、179.7万円  
・第2・3次産業者:申請13件、申請額857.4万円

- 旅行キャンペーン・はた旅クーポン事業 8/1～1/31  
・クーポン5千円×幡多1万泊分(四万十市3,977泊分)  
クーポン券:1枚500円×幡多10万枚発行  
【8月実績】四万十市 9,527枚、4,763.5千円
- 旅行キャンペーン・四万十市クーポン事業 12/1～

#### [基本目標3]

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

- 子育て世帯応援臨時特別給付金(児童1人1万円) 7/15～  
・申請2,564件、支給額4,347万円
- 妊婦特別給付金(10万円) 6/8～6/30  
・妊婦149名、支給額1,490万円
- 保育所保育料・給食費減免(4・5月分)  
・公立保育所15施設、私立保育所等6施設
- 修学旅行キャンセル料支援 10・11月

#### [基本目標4]

地域に合った小さな拠点をつくり、まちとの連携により市民の暮らしを守る

- デマンドバスキャッシュレス端末導入 9月  
・中村まちバスへのキャッシュレス決済端末導入
- 地域鉄道事業者運行支援 10月～3/31  
・安全な運行確保に必要な修繕費を補助



# 5 令和2年度上半期の主な取り組み (1/5)

## ●基本目標1『地産外商により安定した雇用を創出する』①

分野 令和2年度上半期

1 産地としての維持・強化【P. 6】

- ぶしゅかんの産地化づくり【農 AP 1】
  - ぶしゅかん産地化推進事委託【地方創生推進交付金】
  - 生産者への栽培指導、苗木供給体制の構築、販促活動など
- 栗の産地再生【農 AP 3】
  - 栗暮プロジェクト【地方創生推進交付金】
  - 西土佐橋地区実証農園運営、水田を栗園に転換 (0.7ha)
- 米ナスの振興【農 AP 4】
  - PRポスター作成、米ナスクラブリー、新メニュー開発セミナー (西土佐地域産業振興推進協議会)
- 有望品目の産地強化【農 AP 5】
  - わさび実証実験の継続、ショウガ栽培実証栽培 (西土佐農業公社)、レンタルハウス整備事業
- 先端技術を活用した園芸施設や園芸システム等の普及促進【農 AP 8】
  - 次世代園芸ハウス事業化に向け協議を実施
- 地域内農業者の共同生産体制の構築【農 AP 13】
  - 西土佐地域で米ナスの共同選果へ向けた取り組み開始

2 地元農畜産物の利用・販売促進【P. 8】




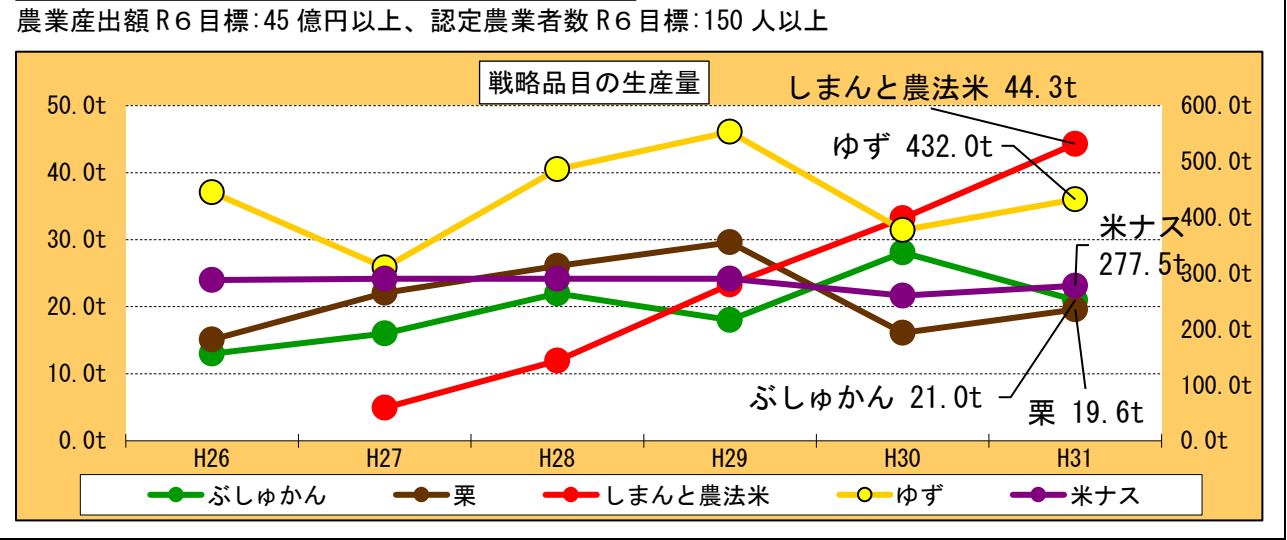
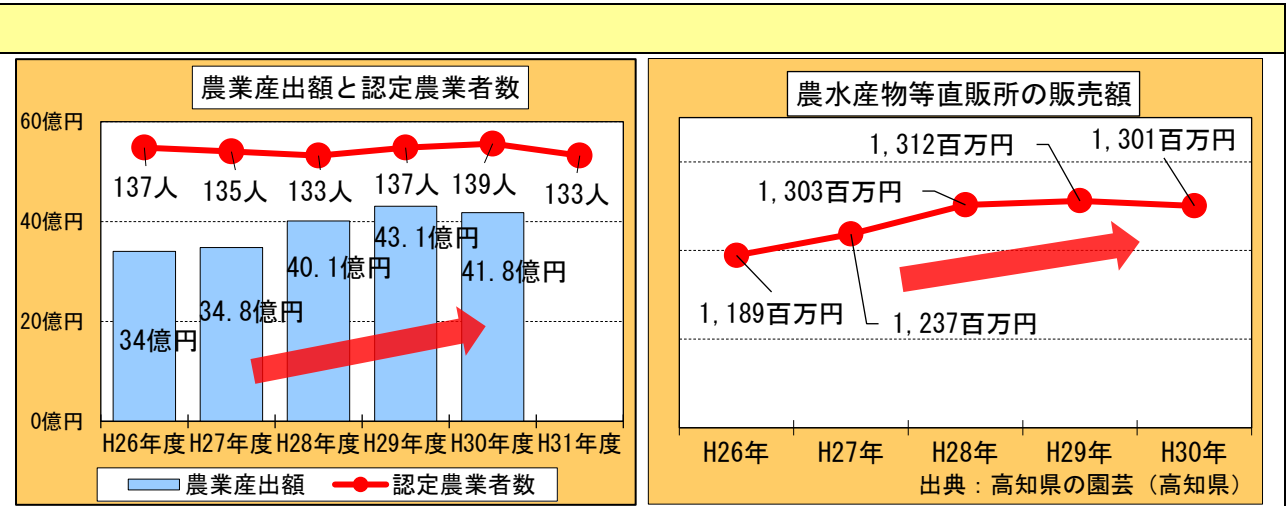
- 直販機能の強化【農 AP 15】: J Aグリーン移転工事着工 (9月)
- ブランド化の推進【農 AP 16】
  - しまんと農法米の生産拡大、具同小学校でのしまんと農法米の授業等
  - 西土佐地域産業振興推進協議会やハブ・キューブプロジェクトでの米ナスや四万十牛のPR、モニターへの計画など

3 担い手の確保・育成【P. 9】

新規就農者、認定農業者、集落営農組織への支援やフォローアップを継続

4 農地の利用促進【P. 10】

- 圃場整備、中山間地域等直接支払、多面的機能支払、水田を栗園に転換を継続

分野 令和2年度上半期

1 四万十の山づくり【P. 11】

- 長期視点に立った産地づくり【林 AP 1~3】
  - 提案型集約化施策の推進を継続
  - 森林経営管理制度の運営 (森林環境譲与税) 森林所有者意向調査、境界の明確化の実施
- 林業事業者及び林業技術者の育成支援【林 AP 9】
  - 緑の雇用事業活用 (R2 新規 4名)
  - 林業担い手育成支援事業 (森林環境譲与税) 新規就業者を雇用する事業体を支援

2 供給体制の強化【P. 13】

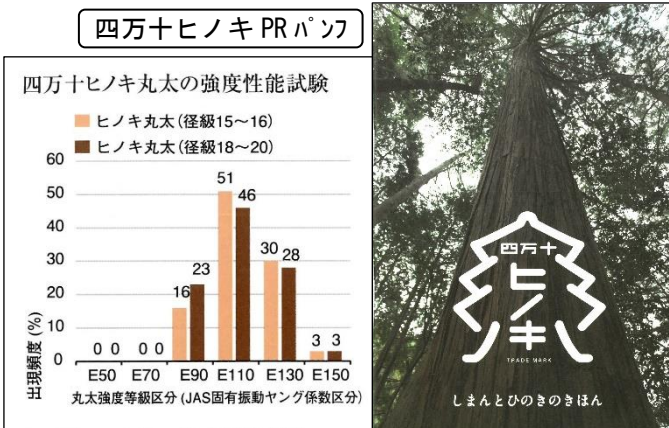
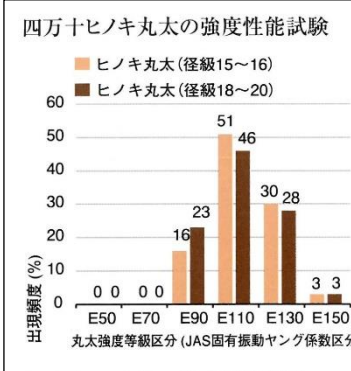
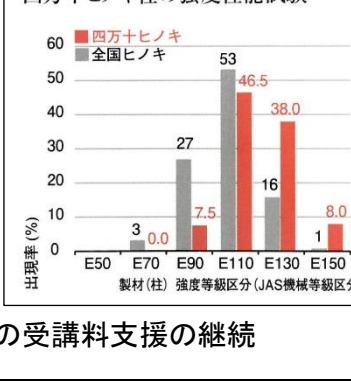
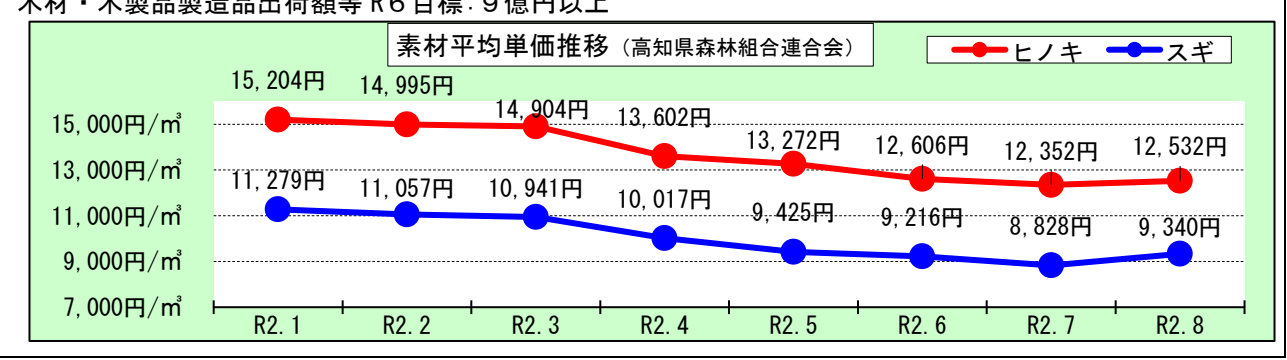
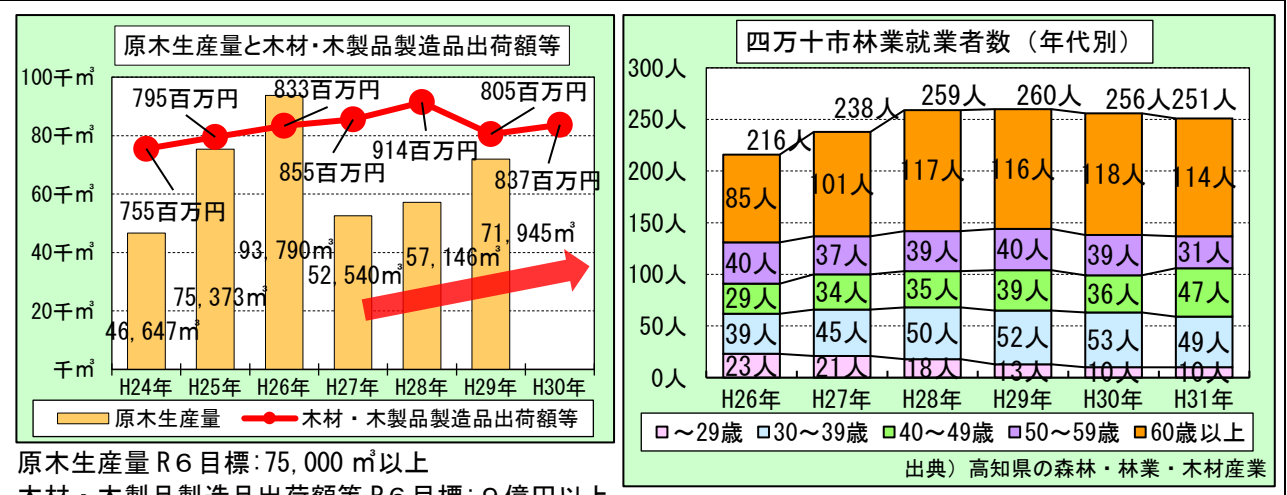
- 木材流通ネットワークの構築【林 AP 13】
  - 幡多流域林業活性化センターでの連携を継続

3 市産材の利用促進と販売力の強化【P. 13】

- 木造住宅建築促進【林 AP 14】
  - 市産材利用促進事業の継続
- 四万十ヒノキブランドの確立【林 AP 18】
  - 四万十ヒノキ強度測定による品質の強みを PR (四万十ヒノキブランド化協議会と連携)

4 健全な森づくり【P. 14】

- 鳥獣被害対策【林 AP 21】
  - 有害鳥獣捕獲支援、防護ネット設置支援、新規狩猟者の受講料支援の継続



# 5 令和2年度上半期の主な取り組み (2/5)

## ●基本目標1『地産外商により安定した雇用を創出する』②

分野	令和2年度上半期															
水産分野	<p>1 水産資源の回復・生産量UP【P.15】</p> <p>(1) 天然水産資源の回復・増殖【水AP1~2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培環境(水温・塩分)、アユ冷水病、アユ仔魚等の調査を継続、アユの漁場整備等を継続</li> </ul> <p>(2) 栽培漁業等の推進【水AP3~5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種苗放流の継続(アユ、うなぎ、アメゴ)</li> </ul> <p>(3) 地域に根差した資源管理の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テナガエビ類の禁漁(9月~3月)継続、禁漁期間の周知</li> </ul> <p>2 水産物の加工・販売促進【P.16】</p> <p>(1) 販売力の強化と販路拡大【水AP11~12】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活アユの豊洲市場出荷、四万十鮎ブランド化の取り組みを継続</li> </ul> <p>3 水産資源を活用した交流の拡大【P.16】</p> <p>(1) 体験教室等の開催【水AP15】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川漁体験、四万十川ガキ体験、水辺の楽校、親子川漁体験の実施</li> </ul>	<p>水辺の楽校</p> 	<p>内水面・海面漁業漁獲量</p>  <p>内水面漁業漁獲量 R6目標: 50t 以上 海面漁業漁獲量 R6目標: 15t 以上</p>	<p>あゆ・うなぎ漁獲量推移</p>  <p>藻類漁獲量の推移</p> 												
	<p>1 顧客に選ばれる商工業の振興【P.17】</p> <p>(1) 地域を拠点とした食の発信【商AP7】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BBQジャンボリーしまんと開催(リバーベキュープロジェクト)</li> </ul> <p>2 中心市街地・商店街等の活性化【P.17】</p> <p>(1) 回遊性と集客力向上のための拠点づくり【商AP10】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Shimanto+Terrace はれのばオープン(4/1)</li> <li>地域おこし協力隊配置(中心市街地の回遊性向上、情報発信等)</li> <li>文化複合施設整備事業(中央公民館、働く婦人の家解体)</li> </ul> <p>3 中山間地域の商業機能の確保【P.19】</p> <p>(1) 小さな(田舎)ビジネスの推進【商AP16~18】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リバーベキュープロジェクトで地域をHPでPR</li> <li>四万十牛本舗移転工事(6月~)</li> </ul> <p>4 企業誘致【P.19】</p> <p>(1) 情報通信関連産業の誘致促進【商AP19~21】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県と連携した企業訪問等を継続</li> </ul>	<p>Shimanto+Terrace はれのば</p> 	<p>卸売・小売業年間商品販売額と製造品出荷額等</p>  <p>小売・卸売業年間商品販売額 R6目標: 750億円以上 製造品出荷額等 R6目標: 160億円以上</p>	<p>道の駅によって西土佐売上額及びレジ通過者数</p> 												
観光分野	<p>1 滞在型の観光地づくり【P.20】</p> <p>(1) 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり【観AP1~4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光動向調査を継続(市観光協会窓口、佐田沈下橋周辺など)</li> <li>リバーベキュープロジェクトによる食のPR(BBQコンテスト、ジャッジ講習会、BBQ検定)、観光メニューの造成</li> </ul> <p>(2) 広域連携による周遊観光の推進【観AP5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幡多広域観光協議会による商談やモニターツアーの実施</li> <li>新型コロナ対策のクーポン券発行(市内3,977泊×5,000円)</li> </ul> <p>2 観光商品の外商の推進【P.20】</p> <p>(1) 観光商品のセールス及び情報発信の強化【観AP6~7】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商談会、旅行会社訪問、セールス活動、イベント出展(市観光協会、幡多広域観光協議会など)</li> <li>デジタルパンフレットの作成、Instagramやフェイスブックでの情報発信</li> <li>リョーマの休日~自然&amp;体験キャンペーン~と連携したPR活動等</li> </ul> <p>3 おもてなしの向上【P.20】</p> <p>(1) おもてなし環境の整備【観AP8~10】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四万十ひろばカヌー館オートキャンプ場オープン(4/20)</li> <li>2次交通(川バスなど)の継続運行、インバウンド用バスパス発行</li> </ul> <p>4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成【P.21】</p> <p>(1) 観光人材の育成、確保【観AP15~16】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光ガイドミーティング、研修会、勉強会などを実施</li> </ul>	<p>BBQ JAMBOREE SHIMANTO 2020</p> 	<p>観光入込客・市内宿泊者数</p>  <p>観光入込客数 R6目標: 130万人以上 市内宿泊者数 R6目標: 25万人以上</p>	<p>観光案内所案内者数(市観光協会)</p>  <p>お盆シーズンの観光客数(市観光協会)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市観光協会窓口 (8/11~8/16)</th> <th>佐田沈下橋 (8/11~8/16)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>279人</td> <td>3,751人</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>273人</td> <td>4,067人</td> </tr> <tr> <td>前年対比</td> <td>98%</td> <td>108%</td> </tr> </tbody> </table>		市観光協会窓口 (8/11~8/16)	佐田沈下橋 (8/11~8/16)	R1年度	279人	3,751人	R2年度	273人	4,067人	前年対比	98%	108%
	市観光協会窓口 (8/11~8/16)	佐田沈下橋 (8/11~8/16)														
R1年度	279人	3,751人														
R2年度	273人	4,067人														
前年対比	98%	108%														



# 5 令和2年度上半期の主な取り組み (3/5)

## ●基本目標2『新しい人の流れをつくる』

**施策** 令和2年度上半期

**(1) 移住定住の推進**

1 移住相談・支援体制の充実【P.23】

(1) 移住推進員の配置

- ・四万十市移住定住支援業務委託（NPO法人四万十市への移住を支援する会：移住推進員4名配置）移住相談対応、移住支援住宅調査及び案内、移住相談会参加、定住支援など
- ・新型コロナウイルス感染拡大地域からの対面での移住相談対応を一部自粛

4～9月 新規移住相談件数 52件（R1:90件）  
移住者数 13組 21人（R1:8組 11人）

2 情報発信と関係人口の拡大【P.24】

(1) ホームページの開設・充実による情報発信の強化

- ・移住ホームページの項目整理（スマホ対応）、空き家情報の随時更新

4～9月 移住ホームページアクセス数 14,499件（R1:8,653件）

(2) 移住体験ツアーの実施や移住相談会などの開催及び参加

- ・新型コロナウイルスにより、参加予定していた移住相談会等が中止（昨年4～9月移住相談会での新規相談件数53件→今年0件）
- おいでや！いなか暮らしフェア（大阪）  
高知暮らしフェア（東京、大阪、名古屋）  
→ 代替策：高知県が開催するオンライン高知暮らしフェアに参加  
個別相談会（8/1～9/18）、オンラインセミナー及び交流会（8/29）
- 新・農業人フェア（東京）、マイナビ就農FSET（東京、大阪）

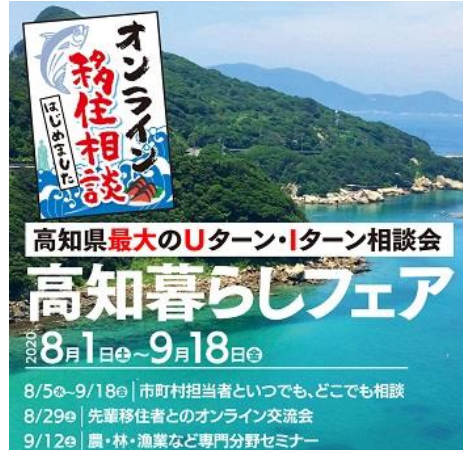

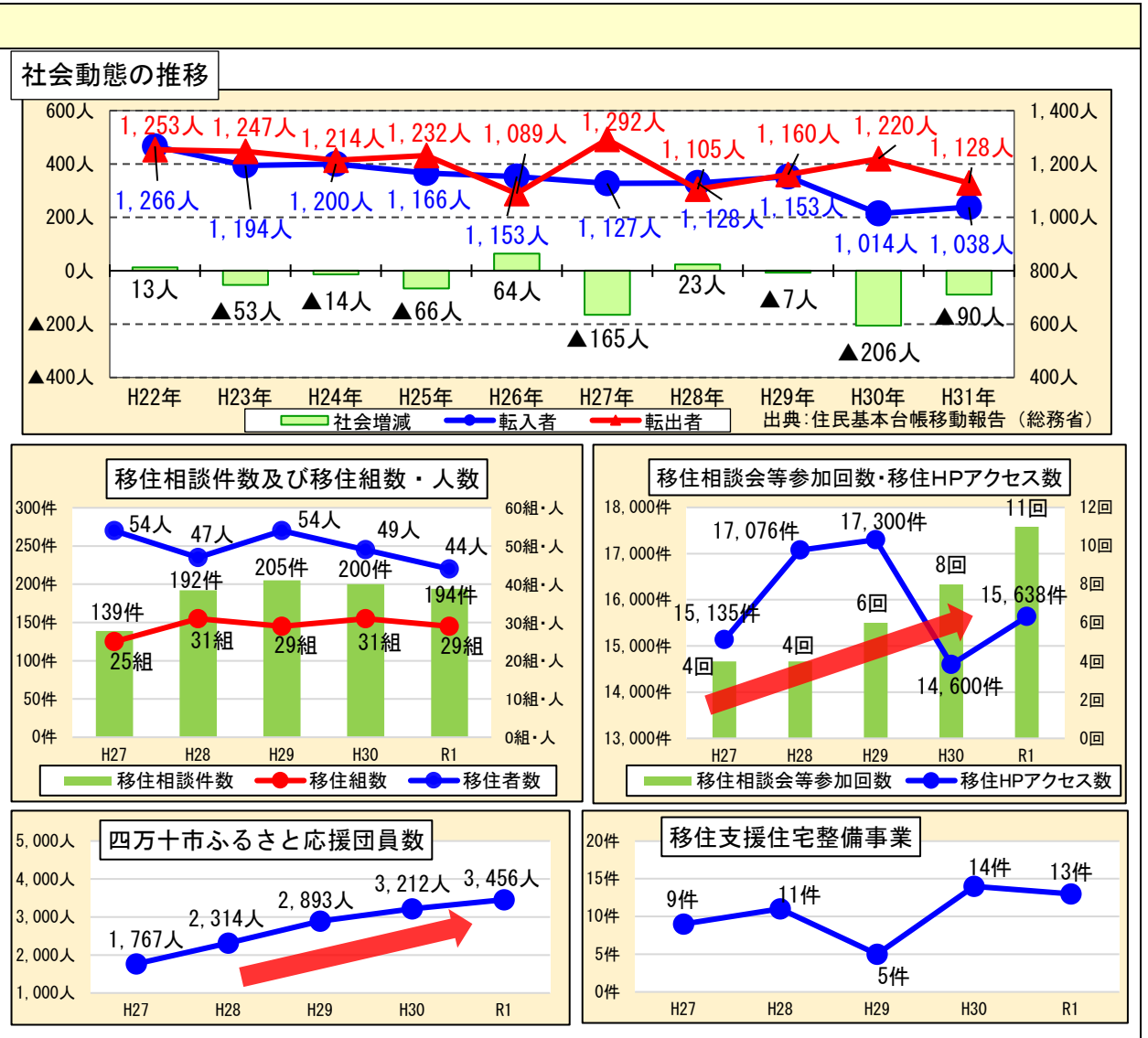
(3) 四万十市ふるさと応援団の登録促進

- ・四万十ふるさと応援団ニュース発行（毎月1回）、中村高校同窓会東京支部だよりへ広告掲載
- ・新型コロナウイルスの影響により、「関東幡多の会交流会」、「幡多路ツアー」が中止

3 移住・定住環境の整備【P.25】

(1) 移住支援住宅の確保

- ・空き家の募集チラシを固定資産税通知書に同封
- ・市広報での募集記事掲載
- ・補助申請受付：小規模住宅改修補助金（4件）、空き家改修補助金（1件）
- ・お試し住宅（西土佐宮地地区）の改修着工（10月末完成予定）

**(2) 市外からの人材誘致**

1 多様な人材の確保【P.26】

(1) 地域おこし協力隊の配置と活用

- ・研修会等の参加（協力隊員及び担当職員）、情報発信（協力隊新聞の発行、ホームページ更新）
- ・隊員ごとに担当エリアで活動実施

■配置状況（R2.9月末時点：3名配置）

所管課	人数	年齢	前住所	任期(最長3年)	活動エリア等
企画広報課	1名	50代	千葉県市川市	R1.7.1～R4.6.30	富山地区
地域企画課	2名	40代	愛媛県四国中央市	R2.3.1～R5.2.28	目黒川流域
		30代	埼玉県春日部市	R2.7.1～R5.6.30	黒尊川流域

■雇用・募集予定（10月以降：5名配置予定）

所管課	人数	年齢	前住所	任期(3年間)	活動内容等
観光商工課	1名	40代	東京都港区	R2.10.1～R5.9.30	中心市街地の活性化
まちづくり課	1名	30代	千葉県習志野市	R2.10.1～R5.9.30	まちなみ景観形成と空き家対策
産業建設課	1名	40代	高知県高知市	R2.11.1～R5.10.31	農業振興
農林水産課	1名	—	—	R2.12月雇用予定	農業振興
地域企画課	1名	—	—	R3.1月雇用予定	大宮集落活動センター活動支援等

(2) 高等教育機関の誘致

- ・意見交換会の実施（高知県知事、幡多医師会役員、下田地区）、文部科学省への事前相談

**地域おこし協力隊新聞** ～中村地域版～ 2020.7月号（不定期発行）

◆暮らし！「D1Y」体験会を行います◆材料費だけで自分で作ることは「D1Y」といいます。富山地区担当の得意です。D1Y大賞さんとして有名な森先生に指導をお願いして、8月に体験会を行いました。これを、D1Yを始めるきっかけにしませんか？

◆ハンガーラック・棚づくり◆  
現在、第六小学校 リサイクルスポットに、洋服やカバンを置いていますが、より見やすく、多くの物が並べられるように、服を吊るすためのハンガーラックと、農具の洗い棚を作ります。一緒に制作した物は、リサイクルスポットで譲渡させていただきます。（前回の体験会の様子）

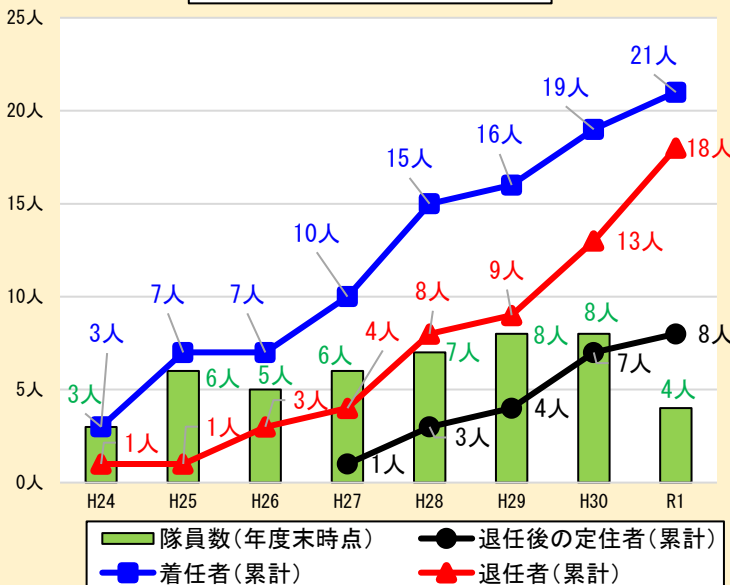
日時：8月22日（土）  
13:00～16:30  
場所：第六小学校内（第六272番地）  
リサイクルスポット  
参加費：無料

◆住まいの快適化D1Y◆  
①土間のコンクリート  
②床下の状態を確認して  
通風や湿気対策を行う  
③床裏・みかげ石の土間の床の、高さ・傾き  
対策として、置くだけ断熱床を作ります

日時：8月23日（日）  
9:30～16:30  
場所：東富山地区内住宅  
（詳細は参加予定の方にお知らせします）  
参加費：無料（断熱材はご持参ください）  
募集数：5名（中学生以上）

お名前、当日の連絡先、参加日・参加人数を  
四万十市役所企画広報課 090-34-9966 直電  
（富山地区おこし協力隊）まで、ご連絡ください  
sakura\_k0909@bb.ne.jp メールでも受付

**地域おこし協力隊の配置数等**



協力隊新聞（不定期発行） 日、21日、30日（火曜または水曜日）



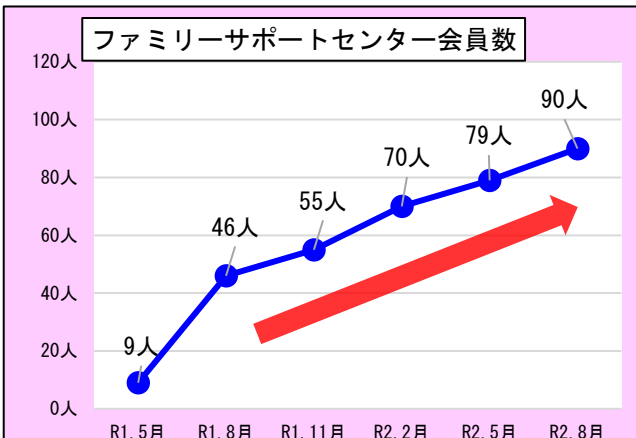
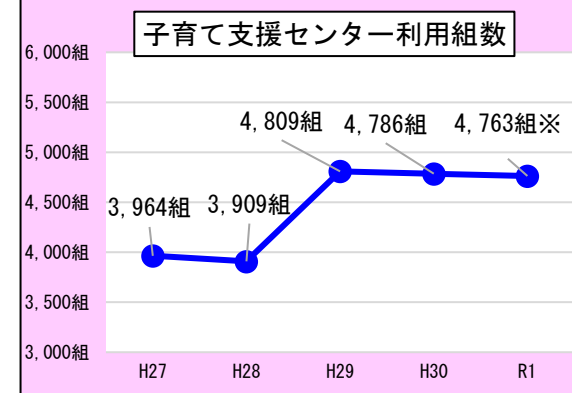
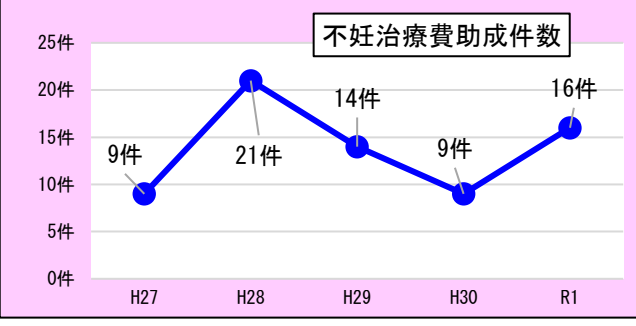
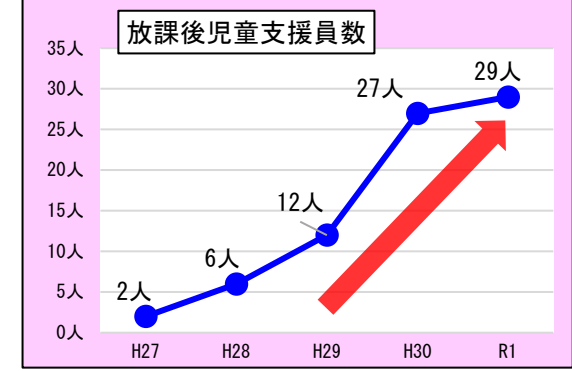
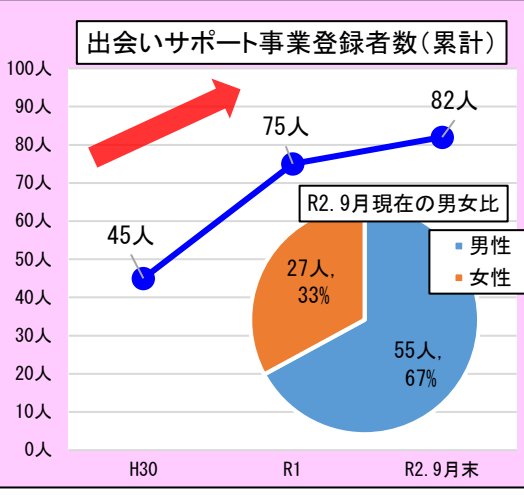
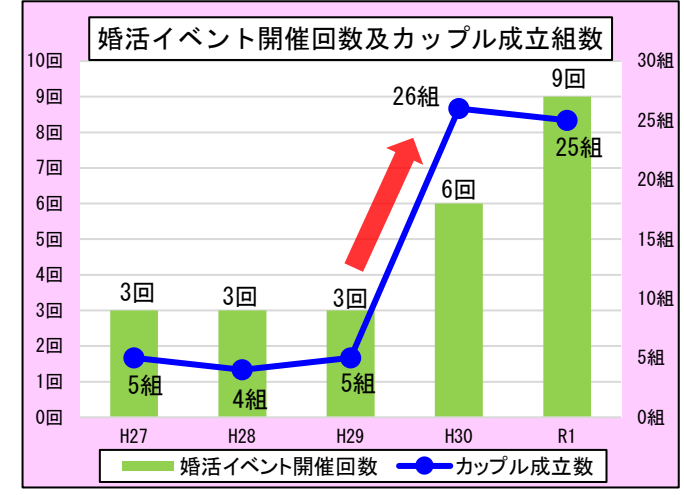
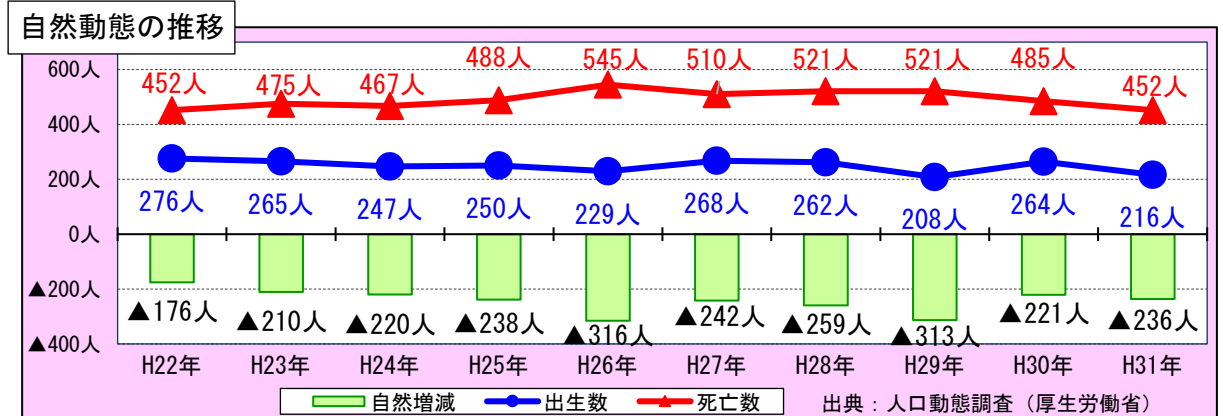
# 5 令和2年度上半期の主な取り組み (4/5)

## ●基本目標3『若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる』

施策 令和2年度上半期

(1) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

- 総合的な結婚支援【P. 27】
  - 出会いのきっかけ応援事業
    - 婚活イベント（スポーツ+BBQ）、出会いサポート事業（少人数での引き合わせ）実施  
婚活イベント参加人数：男性12名、女性10名（カップル成立数：3組）  
1対1での引き合わせ：5回実施（カップル成立数：1組）
- 安全・安心な妊娠や出産のための支援【P. 28】
  - 妊娠初期からの母体の健康管理の充実
    - 妊娠届出時の全妊婦への面談、妊娠後期の助産師から出産準備に向けての電話を実施
    - 支援が必要な妊婦には、支援プランを作成し、関係機関と連携して妊娠中からの支援を実施  
4月～9月妊娠届出者90人（うちプラン作成件数88件）
  - 妊婦教室の実施
    - 妊婦教室を3回実施、延べ50名参加（妊婦33名、夫17名）
  - 妊娠期から子育て期までの支援情報の提供
    - 産婦の意見をもとに、子育て支援ガイドブック「おやっこ」をリニューアル
    - 母子健康手帳交付時や、転入した妊婦や乳幼児家庭に配布
- 子どもの健やかな成長と発達のための支援【P. 29】
  - 乳児家庭全戸訪問事業の推進（こんにちは赤ちゃん事業）
    - 生後4か月未満の乳児家庭への訪問を実施  
3月～9月生まれ124人のうち116人訪問
  - 口からはじまる健康づくりの推進
    - 保育所、小学校でのフッ化物洗口の実施  
保育所：市内全園、小学校：市内11校（14校中）、中学校：市内1校（11校中）
  - 各種検査の充実（新生児聴覚検査及び弱視スクリーニング検査の実施）
    - 母子健康手帳交付時に新生児聴覚検査の必要性を説明し、受診票を配布  
4～8月受診者数89人（要精密者0人）
    - 子どもの弱視の早期発見、早期治療のため、3歳児健診時に弱視スクリーニング検査を実施  
4～9月受診者数125人（要精密者3人）
- 保育サービスの充実【P. 30】
  - 低年齢児保育の受け入れ体制の整備
    - あおぎ保育所保育室増築（8/31地質調査完了）
    - 公私連携幼保連携型認定こども園転増築（8/27着工）
- 地域での子育て支援の充実【P. 31】
  - 地域子育て支援センター事業の充実
    - おしゃべり広場等で講師を招いての子育てに関する情報提供（毎月1回程度）
    - 親子ふれあい活動等の実施  
1・2・3歳児対象（ぽっぽ）、0歳児・妊婦対象（ぴよちゃんクラブ）  
ぽっぽの広場、お誕生会、体育遊び、育児相談、栄養相談など
  - 子育てサークルや子育て支援に関する団体への支援及び連携
    - 子育て支援活動を行う4団体への支援（補助）  
（カドルファミリー、NPO法人スマイルはたっこ、子ども食堂、中村子ども劇場）
    - 子育て応援団の活動を後援し、運営を支援  
4月～9月ママ&チルドレン11回実施
  - ファミリーサポートセンター事業の充実
    - 援助会員講習会の実施  
基礎講習：9/12、9/13（受講者10人のうち修了者7人）



※西土佐地域は組数でカウントしていないため、人数を組数としてカウント(R1利用者111人)



# 5 令和2年度上半期の主な取り組み (5/5)

## ●基本目標4『地域にあった小さな拠点をつくり、まちとの連携により市民の暮らしを守る』

施策	令和2年度上半期															
(1) 地域におけるくらしの維持と創生	<p>1 小さな拠点等の整備促進と活動支援 <b>【P.33】</b></p> <p>(1) 集落活動センターの整備促進と取り組みの支援（集落活動センター推進事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大川筋地域での集落活動センター設立支援</li> <li>準備委員会（産業部会、生活部会）、部会別会議等6回実施</li> </ul> <p>2 中山間地域の生活支援 <b>【P.33】</b></p> <p>(1) 生活用品・生活水の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三ツ又地区飲料水供給施設整備（実施主体：三ツ又地区水道組合）</li> </ul> <p>(2) デマンドバス等の移手段の維持・確保及び利用促進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>運行形態</th> <th>運行エリア・路線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中村地域</td> <td>デマンド交通</td> <td>東富山・東蕨岡、八東、後川、西富山・西蕨岡</td> </tr> <tr> <td>自家用有償旅客運送</td> <td>勝間川線、有岡線、江ノ村・森沢線</td> </tr> <tr> <td>廃止代替路線</td> <td>市内11系統（※まちバス含む）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">西土佐地域</td> <td>デマンド交通</td> <td>北部エリア、中部エリア、共通エリア</td> </tr> <tr> <td>自家用有償旅客運送</td> <td>黒尊線（口屋内、玖木、奥屋内、黒尊）</td> </tr> </tbody> </table>	地域	運行形態	運行エリア・路線	中村地域	デマンド交通	東富山・東蕨岡、八東、後川、西富山・西蕨岡	自家用有償旅客運送	勝間川線、有岡線、江ノ村・森沢線	廃止代替路線	市内11系統（※まちバス含む）	西土佐地域	デマンド交通	北部エリア、中部エリア、共通エリア	自家用有償旅客運送	黒尊線（口屋内、玖木、奥屋内、黒尊）
	地域	運行形態	運行エリア・路線													
中村地域	デマンド交通	東富山・東蕨岡、八東、後川、西富山・西蕨岡														
	自家用有償旅客運送	勝間川線、有岡線、江ノ村・森沢線														
	廃止代替路線	市内11系統（※まちバス含む）														
西土佐地域	デマンド交通	北部エリア、中部エリア、共通エリア														
	自家用有償旅客運送	黒尊線（口屋内、玖木、奥屋内、黒尊）														
(2) 地域で支えあう活動や取り組みの推進	<p>1 住民が住み慣れた地域で、いつまでも安心して健康に暮らせる地域づくりの推進 <b>【P.35】</b></p> <p>(1) 健康・福祉地域推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地区健康福祉委員会」委託事業</li> <li>介護予防・健康推進事業、支えあいの地域づくり事業の実施</li> <li>住民座談会の実施</li> <li>地域の実態に即した小地域福祉計画の策定に向け、12か所（中学校区単位）で座談会を実施</li> </ul> <p>(2) あったかふれあいセンター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あったかふれあいセンター運営委託（アルメリア、愛ハピネス、いちいの郷）</li> <li>高齢者の方などの元気づくりや見守り、相談のほか、障害者等の社会参加へのつなぎ等の活動を実施</li> </ul>															
	<p>1 安全・安心に暮らすことができる災害に強いまちづくり <b>【P.36】</b></p> <p>(1) 全戸訪問による住宅耐震化及び家具転倒防止対策の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報等で耐震化の必要性を周知・啓発</li> <li>国土交通省パネル展での周知活動（アピアさつき）</li> <li>学校等での学習会で耐震化、家具転倒防止対策の必要性を説明</li> </ul> <p>(2) 防災士の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織168組織に対して防災士養成講座の受講を要請</li> <li>市広報9月号で一般市民に対しても防災士の資格取得を推進</li> </ul>															
(3) にぎわいのあるまちづくり	<p>1 広域連携による取り組みの推進 <b>【P.37】</b></p> <p>(1) 幡多地域定住自立圏の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3次幡多地域定住自立圏共生ビジョン素案作成（10月策定）</li> <li>7/21 幡多地域担当課長会、7/31 ビジョン懇談会</li> </ul> <p>(2) 地域公共交通ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会：7/29 幹事会、8/19 総会</li> <li>高知県地域交通会議：7/9 幡多ブロック幹事会</li> </ul> <p>(3) 標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幡多地域の各自治体（四万十市、宿毛市、土佐清水市、三原村）がそれぞれ Google と契約締結</li> <li>Google マップ等の各検索サイトを通じてユーザーが圏域内のバス情報を入手できる仕組みを構築</li> </ul> <p>(4) れんけいこうち広域都市圏による連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8/5 ビジョン懇談会、8/20 事業調整チーム Web 会議の実施</li> </ul>															
	<p>1 安全・安心に暮らすことができる災害に強いまちづくり <b>【P.36】</b></p> <p>(1) 全戸訪問による住宅耐震化及び家具転倒防止対策の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報等で耐震化の必要性を周知・啓発</li> <li>国土交通省パネル展での周知活動（アピアさつき）</li> <li>学校等での学習会で耐震化、家具転倒防止対策の必要性を説明</li> </ul> <p>(2) 防災士の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織168組織に対して防災士養成講座の受講を要請</li> <li>市広報9月号で一般市民に対しても防災士の資格取得を推進</li> </ul>															
(4) 広域連携による魅力あふれる地域づくり	<p>1 広域連携による取り組みの推進 <b>【P.37】</b></p> <p>(1) 幡多地域定住自立圏の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3次幡多地域定住自立圏共生ビジョン素案作成（10月策定）</li> <li>7/21 幡多地域担当課長会、7/31 ビジョン懇談会</li> </ul> <p>(2) 地域公共交通ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会：7/29 幹事会、8/19 総会</li> <li>高知県地域交通会議：7/9 幡多ブロック幹事会</li> </ul> <p>(3) 標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幡多地域の各自治体（四万十市、宿毛市、土佐清水市、三原村）がそれぞれ Google と契約締結</li> <li>Google マップ等の各検索サイトを通じてユーザーが圏域内のバス情報を入手できる仕組みを構築</li> </ul> <p>(4) れんけいこうち広域都市圏による連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>8/5 ビジョン懇談会、8/20 事業調整チーム Web 会議の実施</li> </ul>															
	<p>1 安全・安心に暮らすことができる災害に強いまちづくり <b>【P.36】</b></p> <p>(1) 全戸訪問による住宅耐震化及び家具転倒防止対策の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報等で耐震化の必要性を周知・啓発</li> <li>国土交通省パネル展での周知活動（アピアさつき）</li> <li>学校等での学習会で耐震化、家具転倒防止対策の必要性を説明</li> </ul> <p>(2) 防災士の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織168組織に対して防災士養成講座の受講を要請</li> <li>市広報9月号で一般市民に対しても防災士の資格取得を推進</li> </ul>															

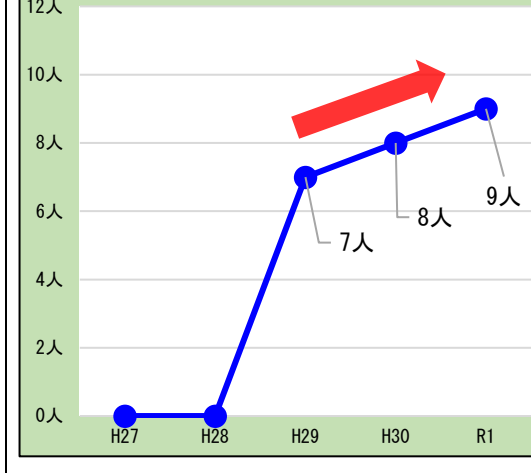
大川筋地域準備委員会



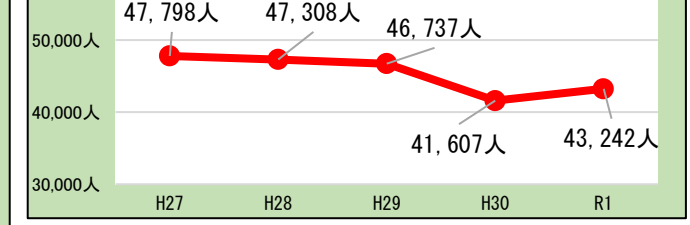
デマンド交通（ふれ愛号）



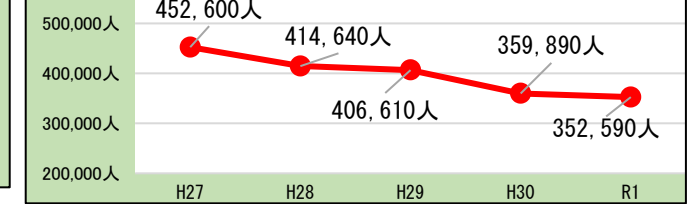
地域とのマッチングによる人材受入数



バス利用者数（地域間幹線除く）



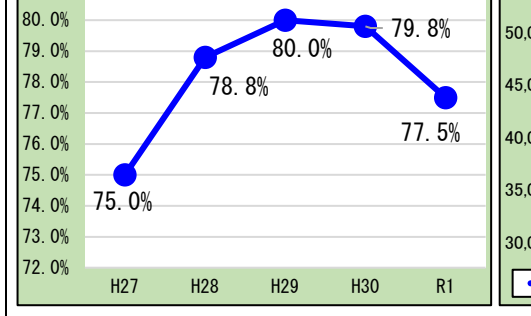
JR予土線利用者数



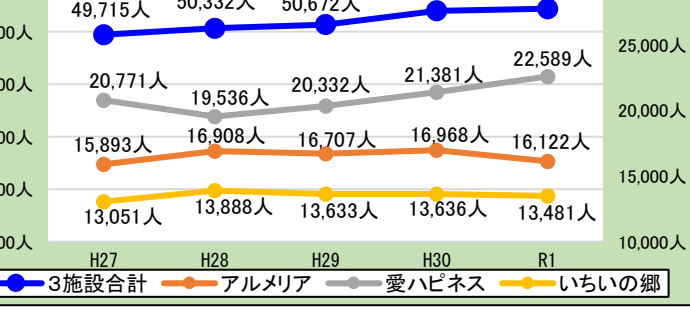
健康・福祉地域推進事業



健康福祉委員会の組織率

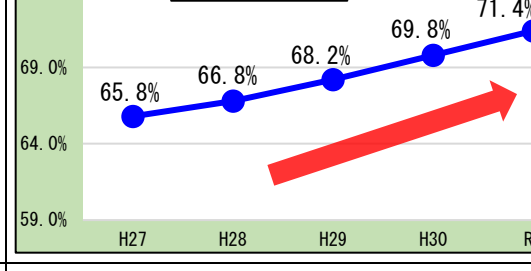


あったかふれあいセンター利用及び支援者数

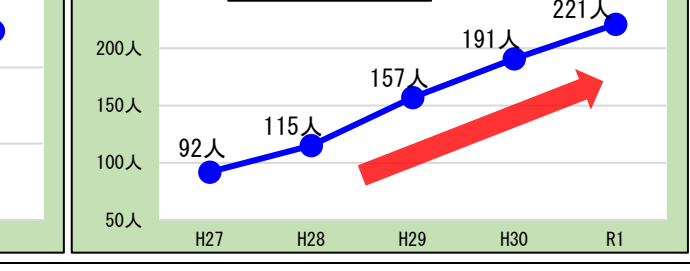


住宅耐震化パネル展示

住宅耐震化率



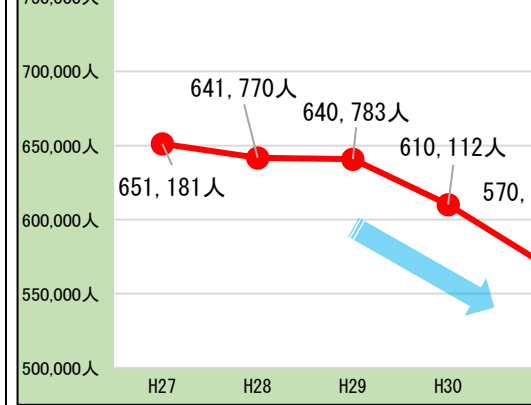
防災士の養成数



新型特急列車導入



土佐くろしお鉄道中村・宿毛線利用者数



バス利用者数（地域間幹線含む）

